勉強会原稿

デイジー教科書製作ボランティア団体、調布デイジー代表の牧野綾です。

よろしくお願いいたします。

わたしには子どもが4人います。そのうち一人がディスレクシアです。

まずこちらの動画をみてください。

自分で読む動画（49秒）

遂次読みといいます。文字一つ一つを読むのに一生懸命で内容を理解することが難しいです。

続いてマルチメディアデイジー教科書で音読をしているところです。

音読動画（42秒）

いかがでしたでしょうか？

比べるとずいぶんすらすら読めていますよね。

この方法だと文字を読むことに頭を使わなくてすむので、きちんと内容が理解できます。

デイジー教科書を読んだ後だと、内容に対する質問にも答えることができます。

デイジーが娘に必要だと思ったときからボランティアとしてデイジー製作に携わってきました。そこから10年。今年娘は高校を卒業します。

発達障害の子どもたちの支援は勉強だけではありません。

日常生活のさまざまな場面で必要になります。

娘も字が読めないことを、他の手段で補いながら 生きていかないといけません。

私にはボランティアとして、教科書を作る時間はもうありません。

私は娘を私の支援なしでは生活できない大人にしたくありません。

自分の力で前を向いてしっかり歩いていく。そんな大人になってほしいです。

そのための時間を私にください。

これで発表を終わります。